

農の風景育成地区特別セミナー&意見交換会

農のつづくまち、 鹿骨のこれから。

鹿骨区民館
フラワーホール
8月25日
(火)

参加費無料
どなたでも参加できます

もし鹿骨で “いちごづくり”を 始めるとしたら？

鹿骨では、長年にわたり、野菜や花卉を育てる農業が営まれてきました。住宅地の中に並ぶビニールハウスは鹿骨ならではの素敵な風景です。一方で近年、使われなくなったビニールハウスが少しずつ増えているように感じます。もし、この空いたハウスで鹿骨のこれらにつながる新しい農の風景が生み出せるとしたら・・・今回は「鹿骨でいちごづくり」することを仮説とし、デジタルやICTを活用した農業の可能性や、地域と農の新しいつながりについて考えます。

こんな方におすすめ

- ・鹿骨の農業のこれらに関心のある方
- ・小規模・家族経営の農業や後継ぎを考えている方
- ・空きビニールハウスの活用に関心のある方
- ・ICTやスマート農業の取組を知りたい方
- ・地域と農業の新しいつながりを考えてみたい方

日時 2026年8月25日(火)
15:00-16:30 (開場14:30)

会場 鹿骨区民館 フラワーホール
江戸川区鹿骨1-54-2

内

前半：基調講演

「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や
街づくりをめざして

株式会社NTTアグリテクノロジー

代表取締役社長 酒井 大雅 氏

ICTを活用したいちご栽培の事例や全国の先進プロジェクトなど、
新しい農の形やまちづくりについてお話しいただきます

容

後半：意見交換会

参加者のみなさんで、仮説に対してできそ
うなこと・課題・疑問・期待することなど、
自由に語り合います

※他の人の話を聞くだけでも大丈夫です！

例えばこんな話・・・

鹿骨でいちごづくり？

- ・ほんとに空きハウスは
生かせるの？
- ・誰が栽培する？
農家さん以外もできる？
- ・特産品化や6次産業化は？
資金や仕組みは？

申込 右下QRコードから または
下記主催までご連絡ください

主
催

鹿骨のむかしといまとこれからを紡ぐまちづくり基地

鹿骨サーキュラーベース (鹿骨1-25-23 圓勝院内)

✉shishibone.circularbase@gmail.com ☎070-4075-9859 (担当：山田)

締切:8/21(金)

